

未来をつくる。みんなでつくる。

# 2022春季生活闘争ニュース



2022. 3. 16 第5号 発行責任者 連合北海道組織労働局

## 「人への投資を!!」街頭宣伝で世論喚起

2022 春季生活闘争は3月15日からヤマ場を迎えているが、連合北海道は石狩地協と共に札幌市内で流し街宣を実施し、春闘の取り組みに理解と協力を求めた。

街頭宣伝活動は当初、停車街宣を予定していたが、記録的な積雪を記録した札幌市内の道路事情を考慮し、流し街宣で実施した。杉山闘争本部長(連合北海道会長)は、「春季生活闘争の大きなヤマ場を迎えている。経済・社会の原動力となる人への投資が必要。月例賃金の改善にこだわり、賃上げの流れを継続させ、その成果を中小・地場組合の闘い、更には最低賃金、人事院勧告につなげていきたい」と決意を述べた。

また、灯油やガソリンの異常な価格上昇が道民の生活や中小企業や一次産業の活動に重大な影響を及ぼしているとして、「トリガー条項」の発動や福祉灯油などの政策の拡充を早急に行うべきなどと訴えた。

今春闘の集計参加登録組合は3月16日現在、昨年とほぼ同数の17産別3地協203組合となっている。3月14日から18日の第一先行組合回答ゾーンで10産別34組合、同22日から25日までの第二先行組合回答ゾーンでは7産別1地協54組合、中堅・中小集中回答ゾーンは10産別1地協53組合が回答指定日を配置しており、精力的に交渉を展開している。

連合北海道と石狩地協の宣伝行動は17日も実施する予定の他、道内各地協でもマイク宣伝や「月例賃金の大幅な引き上げ」などののぼりを立てて世論喚起を図る行動を展開している。



杉山闘争本部長自らマイクを握って流し街宣を実施  
(3.16札幌市内)



事務所前に幟を立てて世論を喚起(日高地協)

### 【集計参加登録組合回答指定日配置日程】

- |                         |          |      |
|-------------------------|----------|------|
| ◆第一先行組合回答ゾーン／3月14日～18日  | 10産別     | 34組合 |
| ◆第二先行組合回答ゾーン／3月22日～25日  | 7産別・1地協  | 54組合 |
| ◆中堅・中小集中回答ゾーン／3月28日～31日 | 10産別・1地協 | 53組合 |